

国際ロータリークラブ第2570地区 第4グループ



本 庄 ロータリークラブ会報

NO40 - 6 第1922回例会 8月 8日 2002年 8月 22日発行

会長 梅村 孝雄、会長エレクト 高井 和夫、副会長 渋谷 修身、幹事 小林 雅幸

《本日の例会》

卓 話

パスト会長 戸谷 丈 氏
パスト会長 黒岩 三雄 氏
パスト会長 関口 雅之 氏

点 鐘 午後 12 時 30 分
進 行 岩淵 富男 S A A
ソング 「我等の生業」斉唱

会長挨拶・報告

梅村 孝雄 会長



皆さん今日は、毎日今年度最高の暑さです。との報道が続いておりますが、皆さんお元気に例会でお会いできる事は健康な証拠としてうれしい事です。

高校野球も始まりました。暫くは暑さとの戦いが続きますますがご自愛ください。

このごろ聞きたく無いニュースが毎日のように報道されております。その報道とは、殺人事件です。殺伐とした世の中なのか、いとも簡単に殺人を犯す人々が後を絶ちません。如何なる理由を問わず、人の命を絶つという行為は許される事ではありません。

しかしながら、人類がこの世に出現し、国家という形を作り出してから、様々な原因で殺し合いを続けて来ました。いわゆる戦争です。過去の歴史上世界中で何の紛争、戦争が起きなかった年は無かったのではと言われております。8月は、日本にとって戦争について考え、そ

の反省をする大切な時期だと思います。

昭和20年、私は小学1年生、防空頭巾を被り空襲警報におびえながら、防空壕に隠れた事もありました。終戦の数日前からの空襲により、熊谷や大田の夜空を焦がす炎を花火のようだと感心したり、流れ弾の焼夷弾が避難した通称朝鮮人山（現在は加藤会員の長嶺墓地です）の近くに落ちた時の恐ろしさは今でも鮮やかな記憶として残っております。

その後日本人は、見せ掛けの平和に慣れきっています。平和ボケと言おうか当然のごとく毎日を暢気に送っておりますが、世界中にはまだまだ紛争の最中と言う地区が沢山あります。ロータリーの活動やその思想が世界平和に貢献できる事が出来れば、素晴らしい事だと考えます。

さて、今月から基本方針の一つ、温故知新シリーズが始まります。パスト会長の皆さんからのお話は、大変に興味深く会員一同期待しております。貴重な体験談が聞けるこの機会は本庄クラブの歴史を知る良い機会です。ご清聴よろしく御願ひ致します。

地区から訃報の連絡がありました。加須 RC の河合 良さんです。RI 在日交換留学生担当理事として活躍され、行田の地区大会では、RI 会長代理の通訳として素晴らしい仕事をしておりました。葬儀日程は未定です。謹んでご冥福をお祈りいたします。

幹事報告

小林 雅幸 幹事



- 訃報が届いております。元 R I 在日青少年交換委員・元加須 R C 会員の河合良さんを送る会が 8月21日(水) 11:00より築地本願寺で執り行われます。

- ・ 上里RCより8月より会報の発行をしません、ホームページにてご覧下さいとの案内が届いております。
なお、本庄RCでも現在ホームページで会報を掲載しておりますのでご覧下さい。
- ・ 例会変更の案内が 児玉RC・岡部RC・寄居RCより届いております。
- ・ 例会場・事務局・電話・FAXの変更の通知が行田RCより届いております。
- ・ 会報が上里RC・本庄南RCより届いております。
- ・ 年度計画書が上里RC・本庄南RCより届いております。
- ・ 次週8月15日は休会です。次回は8月22日12:30より埼玉グランドホテルですのようしく願います。

前年度決算報告

春山 茂之直前会長 挨拶

昨年度皆様方のご協力により無事年度を終了することが出来ました。また本庄の発展の基になる新幹線本庄新駅設置基金200万円を残す事が出来ました。

また、先週決算を終え理事会を通過いたしましたことを、ご報告致します。



高柳 育行 直前幹事 前年度決算報告(資料参照)



- ・ 高柳 育行直前幹事より決算書の収支報告が行われた。

岡崎 正六 監事 監査報告



- ・ 岡崎 正六監査より監査を行ったところ全て適正である旨監査報告がなされ、出席会員により承認された。

卓 話

- ・ 戸谷 丈 パスト会長



入会して三十八年余り皆様のお陰です。有難うございます。

こんなに続けられた理由は、海軍時代に教えられた言葉の中に「押しても駄目なら引いて見る。引いても駄目なら考える。それでも駄目ならやめときな」というのがありました。これは零戦で六十四機も落し、尚自分の列機を一機も落さずに生き残った人、坂井三郎零戦隊長が後輩に教えたものですが、孫子の兵法に「用兵は拙速を要す」と共に、今でも私の頭の中から離れずに今日に至って居るからかなとも思って居ります。

「私は友達がほしい」と思って入会させて頂きました。鎌倉末期の歌人兼好法師は「徒然草」の中で、「よき友」とは、物くるる人、医師、智恵ある人、と云って居りますが、相手に対して「物くるる人」になるには、不断の努力が大切です。お医者さんや智恵ある人は会員の中に沢山居られます。

入会当時のRCについて申し上げます。創立後会員の増強が必要だということで、私は六人の人達と入会しました。昭和病院の高橋先生、ソースの高橋さん達です。先代の真下さん、金子さん、梅村さん、ヤクルトの齋藤さん達は創立会員です。

ボーイスカウトは梅村さんの肝入りで二十七名増員され、五十名になったと喜んで居たことを思い出しました。

チャーターナイトは、昭和三十九年三月二十二日西風の冷たい本庄高校の体育館で、三十六名の会員で登録料2,500円、総経費2,240,000円、内借入金1,800,000円で挙行されましたが、その他に参加して下さる奥様方のシルクの和服一揃が莫大な負担でした。

当時は富田創立会長の強い指導で運営されて居りましたが、なかなかR.Cが理解できず「四つのテスト」などは、渋澤栄一子爵の「論語とソロバン」これは孔子の仁(思いやり)と商売を説いたもの、又後藤新平伯爵の「人のお世話にならぬよう、人のお世話をする様に、そして報いを求めぬよう」一万円札の福沢諭吉の「いましめ」世の中で一番美しい事は人の為に奉仕して決して恩にきせないことです。などをバイブルとして議論し合いました。

二代目の福島会長時代の公式訪問は、元宮様の竹田ガバナールがおいでになり全員緊張しましたが極めて丁寧に御指導され、幹事のヤクルトの齋藤さんが用意された伊勢崎の山楽荘では、若い会員の安来節に大変喜ばれて帰られました。当時は一ドル三六〇円、手続要覧、メーキャップ等聞きなれない事ばかりで面喰って居りました。

四代目金井金吾会長の時、出席委員長になり年間全員100%出席を達成しました。方法は簡単です。全会員で五人ずつ組をつくりメーキャップ等でリーダーが責任を持てば良いのです。南クラブもあります。出席免除資格者は二十五名も居ります。通信機器も完備して居りますが、退会防止や会員増強のためこんなことは夢なのでしょう。

私は入会十年で会長候補になりました。四十八才でした。そして児玉クラブの創立がありました。一度はあきらめかけたのですが、極度の応変の措置について話し合い創立に持ち込んだことが思い出されます。

団体の円満な運営は人事と会計です。特に会計については、毎月帳尻を発表しました。最近ニコニコが当日の集計を発表しているのは、大変良いことだと思います。

折角の機会ですから戦争中のことに触れてみます。数少なくなっただけでしたが、私は海軍の下士官ですから難しい事は解りませんので自分の体験を中心にお話します。

私が入ったのは「若い血潮の予科練」と歌われた海軍甲種飛行予科練習生で若者の憧れでしたが、私には別の理由がありました。横須賀で軍艦の製図の勉強を終えて110号艦の建造のスタッフになりました。これは、後の航空母艦七万二千トンの「信濃」です。この艦は竣工の直後、横須賀出航数時間でアメリカの潜水艦フィッシャー号の六発の魚雷で沈没してしまいましたが、その記録に「巨大なタンカーらしきもの撃沈」と報告されて居りました通り、五年間の建造期間中絶対的な「軍極秘」が守られており、私達スタッフの日常生活にも憲兵の厳しい干渉があり、休みでも家に帰れない程でした。本来我儘な私は、ここを抜け出す為に入隊したのも理由の一つだった

様です。

入隊当時、南太平洋ではラバウル航空隊が活躍し、それに続くべく訓練は勇ましいものでした。

レーダーのない時代の搭乗員ですから叩きこまれるのも大変です。軍人ですから「軍人勅諭」、海軍の五省を基本にして、軍制・体技・航法・モールス通信・手旗・旗旗信号・機関・銃撃・雷撃・操縦・陸戦等で不適格者は続々と整備科へ落されて行きました。当時の号令演習で大声を毎朝張り上げて居りましたので地声になりました。総ての訓練が「総員起し五分前」で五分前が身につきました。

艦船勤務の為の節水の習慣が今でも入浴、洗顔の時にその癖が出ます。今でも気になるのは万歳の時、手の平を見せることは、「ホールドアップ」降参の意味で、絶対に見せてはいけないと教えられました。

空軍というとすぐに零戦を思い出しますが、敵を攻撃するのは爆弾や、魚雷を積んだ一式陸攻や、九九艦爆が戦力の中心であり、これを護って制空権を得るのが戦闘機です。

零戦は、あらゆる技術を使って敵と戦います。時速六〇〇キロ、上昇一万米、航続一八〇〇キロ、二〇ミリと七・七ミリ機銃の四丁ですが機銃は前向きに固定されていますから、速く敵の後に喰いつかなければ勝てません。戦いを有利に進めるには、一刻も速く敵を発見しなくてはなりません。肉眼の視力の訓練で「晝間の星が見えるまで」とのことでしたが、ラバウル帰りの先輩は「南方では見ることが出来る」と云って居りました。

予科練を卒業した四月、突然、宝塚遊園地に父親が面会に来て呉れましたが、その意味が後で解りました。翌日私達に「飛行機が足りないでこの国を護るために「特殊兵器の搭乗員を募集する」とのこと、当時の私達の心情として全員が大熱望で順次その訓練に出発しました。特殊潜航艇「回天」や「蛟竜」、洋上攻撃艇「震洋」です。私の番がなかなか来ないのでそっと聞いてみましたら、当時私は後輩の教材が足りないで、軍艦の図面などを画いていましたので、「お前はもう少しここに居て呉れ」とのことでした。



(戸谷 丈さん父親と 昭和20年4月撮影)

最後は、淡路島の「震洋」の基地で終戦を迎えましたが、終戦直前、和船で移動中の十六、七才の後輩が目前の鳴門海峡で敵の艦載機に襲われ、アッと云う間に八十二名の戦死者が出たのは、非常に残念でした。

短い期間でしたが、命掛けの毎日だったので今でも京都の千宗室 P.G を中心に、「ネービーロータリー」の会合等が開かれて居ります。

来年、五月十五日創立四十周年式典が、無事に成し遂げられることを祈念して終ります。



(戸谷 丈さん 昭和20年4月撮影)

・黒岩 三雄 パスト会長



早いもので入会して30年以上になります。

会長を務めたのは1985～1986年度でまだ高度経済の時に R I 会長はエドワ・ド・ガドマン氏で YOU ARE THE KEY 「あなたが鍵です」を目標に向かって奉仕活動を行いました。

当時埼玉県下全域が257地区といひガバナ - は田中徳兵衛氏で、其の後、岡ガバナ - の時に県東部と県北部の2770・2570地区に分かれることになり2570は今日に至っています。

また幹事は大谷さんで大変お世話になりました。

当時の世相は過渡期で色々な事がありました。青函トンネル貫通、日航ジャンボ機の墜落事故その時にケガをされた方々にと、会員の浄財と会から10万円のお見舞いを新町の自衛隊に届けた事、ボーイスカウト全国大会

にお見舞いに行ったこと、民営化による日本タバコ産業、N T T の設立、社会党初の女性党首、第三次中曽根内閣の誕生等が思い出されます。

ロータリーの大きな事業としては、ロータリーの森を造る5年間の継続事業の最終年度に私があたり、記念碑を作り98名の名前が刻み込まれましたが、現在ではその内41名が退会、20名の方々が故人となられており万感の思いです。

ロータリーは、思いやりでご座居ます。互いに思いやりをもって、いいクラブにして行きたいと思います。



・関口 雅之 パスト会長



私が入会した時ちょうど十周年が終わった年で本庄ロータリークラブにお世話になって30年になります。

会長になりましたのが1986～1987だと思えます。

先日年度計画書をみておりますと私の前の会長経験者でお元気な方は、黒岩さん、戸谷丈さん、ここにはいらっしゃいませんが清水さん、大谷さんの4人の方だけです。私の後に会長になられた方は全員お元気です。

私の会長年度では、関根先生が幹事で大変お世話になりましたが、ちょうど分割2年前でしたので色々とお世話がありました。それは本庄からガバナーが一人も出ていなかった事にもあります。9月10日頃福島パストガバナ

ーから分割になるに当り、岡先生を初代のガバナーに推選して来たので、会長クラブを取り纏めて欲しいと云われましたが、11月10日埼玉栄で行われる地区大会にガバナーノミニーで、写真掲載するので10月末までにまとめる必要があり、1ヶ月間に数回に及ぶパスト会長幹事会を開き岡先生に決まったわけです。

そしてガバナー年度の会長には高橋さんしかいないと云う事で推選させて頂きましたが、ちょうど分割にぶつかった為に難しい問題もあって1年間が大変早く終わってしまいました。

又、在任中感じた事はよく手続要覧を見て云々と言いますが、それは大変難しいことだと思っております。

先程の会長のお話で青少年交換委員長として御活躍されました河合さんがお亡くなりになったとの事ですが残念です。

先輩の黒岩さん、戸谷丈さんにはこれからもロータリー活動にご専念頂きたいと思っております。

戸谷 清一 「ケーブルテレビは街づくり」9月7日花火大会を生中継をさせていただきます。

佐藤 三郎 今日は立秋です。この暑さも、今がピークです。明日から残暑になります。身体に気を付けましょう。

(以下同文でご投入がありました。)

関口 雅之・小林 一成・松原 幹男・岡根 昇・
富沢 理・横尾 弘明・福島 文江・下山 正男・
境野 定次・茂木 正・矢島 淳一・岩淵 富男・
水上 登美晃・神宮 つぐよ

藤井 仁 ロータリーの食事券をつかってもらっています。土用中なのでうなぎをどうぞ。

本日の投入金額合計 ¥ 41,000

ニコニコBOX委員会

境野 定次 委員長

(順不同・敬称略)

井河 久昇 温故知新 パスト会長の皆さん
戸谷 丈さん、黒岩 三雄さん、
関口 雅之さん、卓話よろしくお願
いします。

(以下同文でご投入がありました。)

渋谷 修身・三宅 健吉・岡崎 正六・大谷 詰男・
佐藤 賀則・高井 和夫・古瀬 末雄・小林 雅幸・
石原 輝弥・野澤 章夫・金井 澄雄・齋藤 清一・
梅村 孝雄・武井 包光・中村 孝・茂木 聡

笠原 勝 8/5号のかわら版『こだま』を30部持ってまいりました。読んで頂ければ幸いです。

春山 茂之 本日は前年度決算報告をさせていただきます。

岩本 英人 衛星名画「ここに泉あり」を見て群響へ通っていた頃を思い涙しました。

黒岩 三雄 本日卓話でお世話に成ります。

高柳 育行 決算報告をさせていただきます。一年間お世話になりました。

戸谷 丈 ニコニコボックス委員会の皆さん、毎週ごくろう様です。

加藤 玄静 来週は盂蘭盆です。お墓参りを致しましょう。

出席委員会

矢島 淳一 委員長

会員数	出席免除 会 員	出席義務 会 員	出席会員	出席率
105名	6名	99名	72名	73.8%

(内メーカーキャップ15名)

ゴルフ部

・ 2001～2002年度ゴルフ部決算書

入金の部		
	前年度繰越金	117,091
	前期会費@10,000×65名+@5,000×1名(小杉)	655,000
	前期通帳利息	94
	後期会費@10,000×66名	660,000
	本庄ロータリークラブより	100,000
	後期通帳利息	27
	入金合計	1,532,212

出金の部		
7月	四Cゴルフ大会参加料@5,000×17名	85,000
9月	第1回コンペ経費(賞品代、その他)	242,000
9月	レプリカ代とフラッグ	105,630
11月	第2回コンペ経費(賞品代、その他)	269,000
12月	夜間例会(真下事務局祝会兼ねる飲物代)	65,315
3月	第3回コンペ経費(賞品代、その他)	267,000
5月	第4回コンペ経費(賞品代、その他)	352,000
5月	全不参加者記念品代	75,000
5月	地区大会参加費@10,000×4名	40,000
	出金合計	1,500,945

残金次年度繰越金	
入金計 - 出金計	
1,532,212 - 1,500,945 = 31,267	31,267

クラブ会報委員会

三宅 健吉、高橋 誠一、近藤 伸侑、田中 克、福島 正美、巴 高志、田中 宏樹、並木 孝幸

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

例会場 埼玉グランドホテル本庄

事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571 E-mail honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.globals.co.jp/hp/HRotary/index.html>